

議 会 報 告 会

委員会ごとの主な内容を報告します



議会報告会は、議会の活動を市民の皆さんに報告し、議会をより身近に感じていただくこと、そして、市民の皆さんと議員が直接対話し、寄せられた意見等を議会運営や市政に反映していくことを目的としています。コロナ禍などで開催を見送っていましたが、今回7年ぶりに開催し、当日は36人が参加され、貴重な御意見等を多数いただきました。

なお、議会報告会の詳細をまとめた報告書を市議会ホームページに掲載しています。



議会報告会

下 水 道 使 用 料

総務経済常任委員会

令和6年第4回定例会で議決した「深川市下水道条例の一部を改正する条例」の改正の主旨や議案審議における主な質疑と答弁について、宮澤孝司総務経済常任委員長から報告しました。

Q 水道料金の基本水量を見直しませんか？

下水道料金が26年ぶりに見直されましたが、将来に向けて、ぜひ考えていただきたいことがあります。水道料金は、使用水量が月に4立方メートル以下の家庭でも、8立方メートル分の基本料金が請求され、同じ水量の下水道使用料もかかります。特に高齢者など、使用水量が少ない方にとっては負担が大きいため、年金生活やアルバイト収入で暮らす方々にも配慮した料金体系を考えていただきたいです。

A 低所得者に配慮した基本料金について議論が必要と考えますので、委員会としての対応を検討します。



市 の 予 算

予算審査特別委員会

令和7年第1回定例会で議決した各会計の当初予算のうち、令和7年度の新規・重点事業に関する主な質疑と答弁について、村上誠予算審査特別委員長から報告しました。

Q 中学校の新制服が導入された理由と、制服購入費用に対する助成金が3年間とされている理由は何ですか？

A 今回の新制服の導入は生徒からの要望などを踏まえ、各学校で協議し決定されました。LGBTQ（性的少数者）への配慮から、性別に関係なくブレザーを着用し、スラックスかスカートを選べるデザインとなっています。これにより、生徒が自分の意思で制服を選べるようになり、学校としては性別に関係なく個人の選択を尊重する方針です。新制服の導入に当たり、譲受け、リユースができない3年間は、市が制服購入費用の一部を助成しますが、3年経過後に助成金が継続されるかどうかは、まだ議論されていません。



こ ども 子 育 て

厚生文教常任委員会

令和7年第1回定例会で議決した「深川市こども子育て条例」の制定の主旨や議案審議における主な質疑と答弁について、田畑陽美厚生文教常任委員長から報告しました。

Q こども子育て条例では基本理念やこどもの権利、地域や市民などの役割が示されていますが、具体的にはどのような内容ですか？

A この条例は、こども子育て支援の推進とこどもの権利の尊重を目的としており、今後の市の施策にこどもの意見を積極的に取り入れていくことを方針としています。少子化が進む中、こどもを地域全体で育てていくという考えの下、市では「こどもまんなか応援サポーター」の募集を行い、見守りや声かけなどの協力を呼びかけています。また、社会福祉協議会ではボランティアによる「こども食堂」の開催なども行われています。条例ができたばかりの今は、具体的な行動を求める段階ではありませんが、地域社会全体でこどもを見守る意識を持っていただければと思います。



議 会 改 革

議会改革特別委員会

議会運営や制度を見直し、より透明で効率的な議会を実現するために検討を進めている「議会基本条例の制定」「タブレット端末導入による議会のペーパーレス化」について、鶴岡恵司議会改革特別委員長から報告しました。

Q タブレット端末の導入経費はどれくらいですか？

全議員がタブレット端末を使えるように、講習などもしっかり取り組んでほしい。

A タブレット端末には機種によって価格差があり、最低限の性能を満たしつつ、できるだけ安価な機種を選ぶ方向で検討しています。導入予定は議員分14台、事務局分4台、予備1台の計19台で、端末代は安価なもので約115万円。また、システム使用料や導入経費として約100万円が見込まれます。先進地の事例では、定例会を重ねる中で自然と使えるようになったとのことで、導入後は講習などを通じてしっかり対応していく予定です。

